

令和3年度  
第2回南相馬市総合計画審議会  
会議録

南相馬市総合計画審議会

# 令和3年度第2回南相馬市総合計画審議会

## 会 議 録

日 時	令和3年12月24日（金）13時30分～15時00分
場 所	南相馬市民情報交流センター 2階 大会議室
参 加 者	<p>○出席委員（14名）          中澤翔平委員、佐久間光弘委員、渡邊純子委員、西浦武義委員、古内照一委員、草野繁春委員、高橋隆助委員、平田廣昭委員、遠藤正文委員、長澤利枝委員、山見重信委員、原田淳子委員、今西一男委員、西山里佳委員</p> <p>○欠席委員（6名）          石川美紀委員、松田喜一委員、新道讓二委員、林勝典委員、目黒道崇委員、金子洋一委員、</p> <p>○説明員          復興企画部長 星高光、企画課長 渡辺裕、企画係長 内城弘志、企画係主査 遠藤好彦</p>
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事          （1）会議録署名人、書記の指名          （2）会期の決定          （3）新たな南相馬市総合計画等策定の進め方について</p> <p>3 その他          （1）令和4年度南相馬市行政経営方針について          （2）その他</p> <p>4 閉会</p>
議 事	<p>1 開会（13時30分）          （出席委員は定数に到達）</p> <p>2 議事          （1）会議録署名人及び書記の指名          （会議録署名人には中澤翔平委員、渡邊純子委員を指名）          （書記には事務局遠藤主査を指名）          （2）会期の決定          （会期は12月24日の1日と決定）          （3）新たな南相馬市総合計画等策定の進め方について</p>

## 新たな南相馬市総合計画等策定の進め方について

■事務局から資料1「新たな南相馬市総合計画等策定の進め方について」に基づき説明。

(質疑等)

### ○委員

「東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から 11 年目を迎え、復旧・復興の進捗に伴い新たな課題等が生じていること」とありますが、新たな課題というのはどのようなものと捉えていますか。

### ○事務局

小高区・原町区・鹿島区それぞれで、復興の度合いが違ってきているということが、新たな課題の一つであると捉えております。

また、特に旧避難指示区域内では、有害鳥獣や太陽光パネル設置などが問題となっており、ある程度津波・地震の復興は進んでいるものの、まだ旧避難指示区域内については、区域外と比べると差が生じています。

加えて、原町区・鹿島区についても一定の復旧・復興は進んでおりますが、ロボットテストフィールドを全市に広げることなど、各区で様々な問題が出ていると捉えております。

これらの課題も含め、新たな計画をどのように策定してくのか、その方針について、来年度の5月までに取りまとめていきたいと考えております。

### ○委員

新たな課題等が出てきたという説明がありましたが、私は10年経った今もなお、震災当時3つに分断されてしまったまま、そのことが解消されていないことが問題であると考えます。

10年が経過し、目に見える形では、いろいろな交流もできるようになったと思いますが、その根底には、未だに残念ながら我々南相馬市民の中には3つの分断というものが拭い去ることが出来ていないのではないかと感じております。

新たな計画を策定する中で、3つの分断が断ち切れていないということについても、皆さんで共通認識とした方が良いと考えます。

### ○会長

共通認識というのは、無理に作ってしまうと一つの方向に向かってしまうことから、無理強いはしたくありませんが、昔から続いている課題、解決型の問題については、当然整理して解決していかななくてはいけないと思います。

また、未来志向の課題、今後解決しないといけない問題が何か、ということをぜひ出していただきたいと思います。その辺が資料に記載のあるSDGsの類など時代潮流が重なってくると考えます。

このことについては、南相馬固有の話ではなくなってくると思います

し、我々が対応していかななくてはならないことになってきます。

そのような過去、未来、それから現在の時代潮流について踏み込んで、その上で10年という基本構想の期間が長いのか、短いのか、をよくご判断いただいて、5月あたりまでに整理し提案いただきたいと思います。

枠組みは、そのような話だと思いますが、共通認識ということについては、皆でどういったところをすり合わせていくかということ、会議がたくさんありますので、その中で話し合っていくということで進めていただければと考えます。

#### ○委員

現在の基本構想の計画期間が10年となっており、基本計画については、来年度で前期4年、後期4年の8年間の計画期間が終了することだが、次の基本構想をどのようにするのかや次期計画の計画期間をどうするかなどについては、この審議会で決めることになるということによいですか。また、現時点での計画期間案については、まとまったものはありますか。

#### ○事務局

基本構想をどうしていくかなども含めて、これから審議会でどういった形が良いか議論いただきたいと考えています。

#### ○委員

そのためにアンケートなどについては、次年度実施することで良いですか。

#### ○事務局

アンケートについては、今年度から着手したいと考えています。アンケートなどを踏まえ、次年度5月以降を目途にみなさんに議論いただけるよう準備を進めていきたいと考えます。

#### ○委員

新たな計画を策定するにあたり、「計画」の名称をどうするのか、といった問題が出てくると思っています。個人的な意見になりますが、やはり10年間は復興だと思っています。

次期計画が4年となるか10年となるかはわかりませんが、「復興」を付けずに総合計画と元に戻るのか、または「復興」という言葉を継続して付けるのかどうかといったところをみんなで十分考えていけば、良い方向性も出てくるのではないかと考えます。

#### ○会長

次期総合計画についても「復興総合計画」の名称で進めることも良いと思いますが、その辺いろいろご意見があるかと思っています。実際、我々が招集されているのも「総合計画審議会」という会議体です。「復興」を必ず付けないといけないわけではないと思います。

ただ、我々としては「復興」の取扱いをどのように考えるかは大事だと考えています。震災から10年を越えて11年目になるということで、そろそろ「復興」の看板を外してもよいのではないかという動きが世間でも出てくる一方で、現場では全然そのようなことが見えてきていない部分もあります。このようなところを話し合うことが大事なことだと考えます。

**○委員**

やはりもっと整理して進めていかないと期間内に決めることが難しいのではないかという印象を持ちました。

**○会長**

実際スケジュールの記載もありますが、うまく落とし込んでいただきたいと思います。

**○委員**

次期総合計画の策定の際は、現計画の反省点を踏まえ、見直しを行った上で新しい計画を考えていくことも必要だと思います。

現計画の4年間で終わったから、全く新たな4年間の計画を作るということではなく、現計画の反省点を見直すことや足らなかった部分を追加するなど、そのような考え方に基づいて計画を策定することも必要であると思います。

10年が経過したから終わるということではなく、ある程度は継続されるものも出てくるものと捉えております。

**○会長**

今年度1回目の審議会において、施策の進捗等について評価を実施しましたが、実際に評価を反映させることは、簡単ではない部分があります。事務局としては、どのように新たな計画を策定する際に、その部分を落とし込もうと考えていますか。

**○事務局**

今回、内部で現計画についての評価を実施し、そこから見えてきた課題等を皆さんにお示しすることに加えて、市民アンケートなどを実施した上で、計画のあり方や計画期間などについて、現計画の課題・反省点を踏まえ、次期計画に溶け込ませたいと考えております。

まずは、内部で年度末にかけて、これまでみなさんに外部評価いただいた具体的な部分について、何が解決できていないのかということや、何が問題になっているかを詰めた上で、次の計画に反映していきたいと考えます。

10年の基本構想に対する検証をしていきますし、基本計画を前倒しした結果なども含めて、総合的な評価が必要だと考えております。

**○委員**

市民参加について、ワークショップとか幅広い世代の方の意見を取り入

れるということですが、ワークショップの方向性や外部委託を取り入れることなどについては、どこまで詰められていますか。

#### ○事務局

外部委託の話もさせていただきましたが、現在、事務局では、ワークショップについては、高校生や県立テクノアカデミー浜の学生など、若い方を中心にワークショップ形式を、少人数で実施することを考えています。

現在、企画提案型のプロポーザルという形で、民間事業者から提案をいただいた中で、実施方法も含め専門的な知見もいただきながら、参加しやすい、また、コロナ禍の状況もあり、なかなか集まるということが難しい状況もありますので、オンラインでのワークショップも含めて検討したいと考えています。

意見の集約方法については、これまでは集まって話し合いを実施していたかも知れませんが、今はSNSなど様々な媒体がありますので、若い方の意見を多く反映したいという思いもありますので、コロナ禍の状況や専門的な知見を有する人の意見を聞きながら、これから検討していく考えです。

具体的には、高校生によるワークショップ形式や各区での地区懇談会、子育てサークル・商工会会員の若手の方々の団体や農業団体との意見交換などを予定しています。次回、具体的に示せるよう整理したいと考えております。

#### ○委員

基本構想や基本計画については、若い世代に浸透していないということがあると思いますが、SDGs などについては学校でも習っていたり、若い世代の方が詳しい場合もあると思いますので、高校生だけというよりも、いろいろな世代の方を跨いで意見を言い合える環境で実施する方が、お互いに理解が深まると考えます。

基本構想や基本計画を作っていく段階から浸透させる土台を作るという意味では、意見交換やワークショップだからこそ実施できることだと捉えております。

#### ○会長

世代を跨ぐように是非やって欲しいと思います。計画を作るだけではなく、総合計画が出来上がった後、地域の担い手を育成するとか、地域で計画を実行していくということも見据えて、参加の在り方を考えて欲しいと考えます。

直接対面型でなくても、遠隔とかいろいろなことが出来るようになってきていますし、様々な形を取り入れて、計画が出来た後に、地区ごとの課題や分野ごとの課題等を実行できるような話し合いの場、プラットフォームを、計画策定をよい機会として、取り組んでいっていただきたいと考えま

す。

**○委員**

基本構想や基本計画を練る際に、アンケートを実施すると思いますが、子どもが関心を持っている「いじめ」や「不登校」など、そのようなものがいつも出てきません。

このことに関しては、現在、これだけ全国で騒がれて、何十万件といういじめが発生している中で、本市においてゼロということは無いと思いますので、ぜひ、アンケートなどで、実態が把握できるようなものを考えていただきたいと思っています。

**○会長**

前回も出ていた分野の話だと記憶しておりますが、今年度中に委託業者が決まり、アンケートを実施するということでしたので、反映していただきたいと思います。

行政経営方針の説明にもありましたが、データやアンケート結果など、何を根拠にしているか、みなさんが気になる点だと思います。今後そのような根拠になるものを的確に示しながら、ぜひ進めていただくようお願いします。

**○委員**

先程いじめなどの話がありましたが、国や県で実施されている社会的弱者に対する取り組みについて、市からは上手く公表されていないように感じています。

次期総合計画では、一つの項目として、社会的弱者に対するフォローについても、どのような対策が必要か見ていくべきだと思っています。

貧富や格差など、様々な問題が多くなってくると思いますので、よろしくをお願いします。

**○会長**

我々も社会的弱者となるかどうか背中合わせだと今の社会では言われておりますので、他人事だと思わないで考えていくことが大事であると考えます。

**○委員**

商工会の関係について、所属する事業者については、小規模事業者がほとんどですが、更にこれから減っていくという状況になっています。

地域コミュニティや消防団員について、様々なものが意外と地域の商店が支えてきたということがありますが、買い物はネットが当たり前となり、若い人に至っては、特にスマホ一つで何でもできる時代になっており、商店がますます必要性が低くなってきています。

地域の中心部に賑わいが無くなっていくことは、これも非常に大きな問題だと思いますので、ぜひ、計画の中に問題として入れていただければと

考えます。

#### ○委員

議会は6月に開催されると思いますが、それまでの間に、アンケート実施やデータの収集などについて執行部で整理されると思いますが、市議会を待たずに公開できる部分については、私たちに参考情報としてお知らせいただきたいと思います。

特に統計データは最新のものがでてくるとと思いますので、随時お知らせ願いたいと思います。

多くの市民の意見を、我々審議会にお知らせいただいて、共通認識を持って議論をしていきたいと考えます。アンケート結果などについても、なるべく公開いただいて、みんなにお知らせいただきたいと思います。

#### ○会長

出来るだけ適宜、あまり五月雨式では無く、ある程度まとめて、会議の日程に関わりなく情報を提供いただきたいと思います。

我々審議会に対しても各種出された意見・質疑等を踏まえ、よりよく進められるよう来年度に向けて準備をお願いします。

#### ○事務局

来年度の予定は、追って通知させていただきますが、データや資料については、適宜情報提供させていただいて、5月に向けてみなさまに公表できるよう取り纏めていたいと考えております。

#### ○委員

今日は6人欠席で14人の参加となりましたが、皆さんそれぞれご都合があつての欠席だと思いますが、市の政策に関する大切な審議ですので、なるべく出席者が多い状態にさせていただきたいと思います。事務局の調整は大変だと思いますが、日程調整をよろしくお願ひしたい。

#### ○会長

出来るだけ多くの皆さんが出席できるようにしていきましょう。

これを以て、今日の第2回審議会を終わります

7 閉会 (15:00)

会議録署名人

会長名 今西一男

委員名 渡邊純子

委員名 中澤翔平